

2023年9月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年2月14日
東

上場会社名 ナレッジスイート株式会社 上場取引所
 コード番号 3999 URL <https://ksj.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 稲葉 雄一
 問合せ先責任者（役職名） 常務取締役執行役員（氏名） 柳沢 貴志 (TEL) 03-5405-8120
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第1四半期の連結業績（2022年10月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利 益		四半期包括利益合 計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第1四半期	857	9.3	27	△41.4	24	△44.6	20	△25.0	20	△25.0
2022年9月期第1四半期	784	40.1	47	—	43	—	27	—	27	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第1四半期	4.02	3.99
2022年9月期第1四半期	5.36	5.32

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年9月期第1四半期	3,361	1,047	1,047	31.2
2022年9月期	3,431	1,023	1,023	29.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年9月期	—				
2023年9月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

3. 2023年9月期の連結業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	3,834	18.5	213	74.0
	～4,071	～25.9	～249	～103.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 2023年9月期の連結業績予想については、レンジ形式により開示しております。なお、業績予想に関する事項、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年9月期1Q	5,162,300株	2022年9月期	5,162,300株
② 期末自己株式数	2023年9月期1Q	143株	2022年9月期	143株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年9月期1Q	5,162,157株	2022年9月期1Q	5,161,570株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料はTDnet及び当社ウェブサイト同日開示しています。また、2023年2月16日(木)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日資料する決算説明会資料は、当社ウェブサイトに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和などにより社会経済活動の正常化の動きが見られたものの、資源・原材料価格の高騰と物価上昇、急激な為替変動などによる経済活動への影響が懸念され、先行き不透明な状況が続いております。

一方で新型コロナウイルス感染症の影響によりテレワークが拡大し、デジタルトランスフォーメーション(DX)への機運の高まりによる営業DX化が中堅・中小企業においても徐々に浸透してきており、また生産労働人口の減少に伴うIT人材不足への懸念が増している状況において、当社グループの提供サービスへの需要は、より一層高まっているものと認識しております。

このような状況下において、当社グループは「Change The Business～中小企業のビジネスを変え、日本経済の活性化に貢献する～」をパーパスに、「脳力をフル活用できる世界へ。」をビジョンに掲げ、2022年9月期を初年度とする「中期経営計画2024」の達成に向けた成長戦略である「事業収益(シェア)拡大」及び「プロダクト・サービスの強化」を推進してまいりました。

具体的には、企業の売上・生産性向上への貢献を可能にする統合型SFA/CRMクラウドサービス「Knowledge Suite(ナレッジスイート)」を中心とした中堅・中小企業向けSaaSシェア拡大、サブスクリプションビジネス拡大のため、営業100名体制へ向けた採用及び新人育成強化、サービス利用継続を促進するカスタマーサクセス体制の強化を実施してまいりました。また、2022年10月にはタレントテック事業を展開するブーストマーケティング株式会社を設立し、サブスクリプションで多くの有名タレントの写真素材を活用し企業のブランディング活動やPRを支援する広告体験サービス「ビジネスブースト」の提供を開始。マーケティング事業を展開するグループ子会社のネットビジネスサポート株式会社が提供するBtoB営業リスト作成サービス「Papattoクラウド(パパットクラウド)」とともに、リードジェネレーション(見込み顧客発掘)領域における企業のDX化を推進してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上収益は857,524千円(前年同期比9.3%増)、営業利益は27,971千円(前年同期比41.4%減)、税引前四半期利益は24,205千円(前年同期比44.6%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益20,739千円(前年同期比25.0%減)となりました。なお、第15期第3四半期連結会計期間において実施した株式会社DXクラウド及び第15期第4四半期連結会計期間において実施したネットビジネスサポート株式会社の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定が行われたことに伴い、前第1四半期連結累計期間の数値を遡及修正しています。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① DX事業

当第1四半期連結累計期間においては、販売パートナーの新規開拓活動及び深耕活動による拡販支援、効率の高い展示会への積極的な参加等によるマーケティング・プロモーション活動を継続しつつ、インサイドセールス部隊を立上げ、リード(見込み顧客)獲得の拡大を図るなど販売チャネル強化を進めてまいりました。

また、「Knowledge Suite」と高い相乗効果を発揮するBtoB営業リスト作成サービス「Papattoクラウド」等、グループ会社が提供するサービスの同時提案やクロスセルといった取り組みを進め、新たに提供を開始したサブスクリプション型タレント広告体験サービス「ビジネスブースト」の導入が徐々に進み始めたことで、SaaS売上収益は前年同期比28.8%増、グループSaaSARR(※1)は1,356百万円となりました。

これらの結果、売上収益は401,606千円(前年同期比15.4%増)、セグメント利益は73,833千円(前年同期比36.6%増)となりました。

※1 グループSaaSARR: 2022年12月末時点のOEMを除く当社及び当社グループが提供する全てのSaaSにおける各四半期末時点のMRRの12倍で算出。ARRはAnnual Recurring Revenueの略。年次経常収益。MRRはMonthly Recurring Revenue。月間経常収益。

② BPO事業

当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復以降、高いIT人材需要を背景に積極的な営業強化を進めたことで、SES(システムエンジニアリングサービス)の派遣先・常駐先開発プロジェクトの増加及びエンジニア稼働率の増加等により、SES売上収益は前年同期比7.2%増となり

ました。

これらの結果、売上収益は455,917千円(前年同期比4.5%増)、セグメント利益は70,969千円(前年同期比25.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は1,145,452千円となり、前連結会計年度末に比べ102,061千円減少しました。これは主に、現金及び現金同等物の減少98,500千円、その他の流動資産の減少24,906千円、営業債権及びその他の債権の増加22,019千円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の非流動資産は2,215,710千円となり、前連結会計年度末に比べ32,028千円増加しました。これは主に、無形資産の増加61,142千円、使用権資産の減少26,853千円によるものであります。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末の資産合計は3,361,162千円となり、前連結会計年度末に比べ70,033千円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は1,487,338千円となり、前連結会計年度末に比べ27,496千円減少しました。これは主に、その他の流動負債の減少33,615千円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の非流動負債は826,456千円となり、前連結会計年度末に比べ66,379千円減少しました。これは主に、有利子負債の減少60,848千円によるものであります。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末の負債合計は2,313,794千円となり、前連結会計年度末に比べ93,875千円減少しました。

(資本)

当第1四半期連結会計期間末の資本は1,047,367千円となり、前連結会計年度末に比べ23,842千円増加しました。これは主に、四半期利益の計上による増加20,739千円によるものであります。

これらの結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末に比べ1.3ポイント増加し、31.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期第1四半期会計期間につきましては、2024年9月期を最終年度とする「中期経営計画2024」の達成に向けて、成長戦略である「事業収益(シェア)拡大」及び「プロダクト・サービスの強化」を引き続き推進し、計画通りに進捗しております。

2023年9月期通期の連結業績予想につきましては、中期経営計画の達成に向けた成長戦略に基づき、経済動向や事業環境、投資機会を勘案した機動的かつ柔軟な先行投資と当期より開始しましたDXセグメントにおける新たなタレントテック事業の開始を起点とした成長ドライバーをより一層加速させるため、投資家の皆様に対してより有用かつ合理的な情報提供を行う観点から、レンジ方式による通期業績予想開示を採用することといたしました。

以上から、連結売上収益は3,834~4,071百万円(前年同期比18.5%~25.9%増)、営業利益213~249百万円(前年同期比74.0%~103.0%増)とし、中期経営計画の業績目標を据え置いた数値計画としております。

なお、上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、感染症収束に伴う経済活動の回復に要する期間等の様々な要因によって、実際の業績は予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	注記	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物		722,959	624,458
営業債権及びその他の債権		429,732	451,751
棚卸資産		2,337	1,663
その他の流動資産		92,484	67,578
流動資産合計		1,247,514	1,145,452
非流動資産			
有形固定資産		63,297	61,023
使用権資産		194,050	167,197
のれん		628,060	628,060
無形資産		1,107,523	1,168,665
その他の金融資産		89,874	89,887
繰延税金資産		100,874	100,874
非流動資産合計		2,183,681	2,215,710
資産合計		3,431,196	3,361,162

(単位：千円)

注記	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	156,832	175,723
契約負債	31,124	35,521
有利子負債	1,029,506	1,051,458
リース負債	92,782	70,163
未払法人所得税	20,645	4,145
その他の流動負債	183,942	150,326
流動負債合計	1,514,834	1,487,338
非流動負債		
有利子負債	752,710	691,861
リース負債	81,686	76,115
引当金	39,280	39,320
繰延税金負債	19,158	19,158
非流動負債合計	892,836	826,456
負債合計	2,407,670	2,313,794
資本		
資本金	700,696	700,696
資本剰余金	260,806	263,909
利益剰余金	64,747	85,487
自己株式	△192	△192
その他の資本の構成要素	△2,533	△2,533
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,023,525	1,047,367
資本合計	1,023,525	1,047,367
負債及び資本合計	3,431,196	3,361,162

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

注記	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
売上収益	784,219	857,524
売上原価	449,362	480,138
売上総利益	334,856	377,385
販売費及び一般管理費	312,333	353,709
その他の収益	25,270	4,592
その他の費用	92	296
営業利益	47,701	27,971
金融費用	4,041	3,766
税引前四半期利益	43,659	24,205
法人所得税費用	16,000	3,465
四半期利益	27,659	20,739
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	27,659	20,739
四半期利益	27,659	20,739
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	5.36	4.02
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	5.32	3.99

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	注記	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
四半期利益		27,659	20,739
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融商品		—	—
その他の包括利益合計		—	—
四半期包括利益		27,659	20,739
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者		27,659	20,739
四半期包括利益		27,659	20,739

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

注記	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素		
2021年10月1日残高	700,501	644,937	△456,289	△192	5,301	894,257	894,257
四半期利益	—	—	27,659	—	—	27,659	27,659
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	27,659	—	—	27,659	27,659
新株の発行	195	195	—	—	—	390	390
株式報酬取引	—	3,102	—	—	—	3,102	3,102
所有者との取引額等合計	195	3,297	—	—	—	3,492	3,492
2021年12月31日残高	700,696	648,234	△428,630	△192	5,301	925,409	925,409

当第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

(単位:千円)

注記	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素		
2022年10月1日残高	700,696	260,806	64,747	△192	△2,533	1,023,525	1,023,525
四半期利益	—	—	20,739	—	—	20,739	20,739
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	20,739	—	—	20,739	20,739
新株の発行	—	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	3,102	—	—	—	3,102	3,102
所有者との取引額等合計	—	3,102	—	—	—	3,102	3,102
2022年12月31日残高	700,696	263,909	85,487	△192	△2,533	1,047,367	1,047,367

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 注記 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	43,659	24,205
減価償却費及び償却費	71,212	76,989
金融費用	4,041	3,766
投資有価証券売却益	△20,847	—
棚卸資産の増減額 (△は増加)	520	673
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△14,059	△22,019
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	7,365	18,890
契約負債の増減額 (△は減少)	△7,282	4,396
その他	△11,727	△5,775
小計	72,882	101,127
利息の支払額	△4,069	△3,385
法人所得税の支払額	△15,612	△20,021
法人所得税の還付額	4,728	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	57,929	77,720
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△416	△1,166
無形資産の取得による支出	△101,259	△101,401
投資有価証券の売却による収入	102,447	—
その他	△752	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	19	△102,580
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△25,098	37,502
長期借入れによる収入	350,000	—
長期借入金の返済による支出	△30,083	△76,506
リース負債の返済による支出	△32,337	△34,636
株式の発行による収入	390	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	262,871	△73,640
現金及び現金同等物の増加額	320,819	△98,500
現金及び現金同等物の期首残高	678,449	722,959
現金及び現金同等物の四半期末残高	999,269	624,458

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定しております。

当社グループは、経営組織の形態、製品・サービスの特性及び販売市場の類似性に基づき、複数の事業セグメントを集約した上で、「DX事業」及び「BPO事業」の2つを報告セグメントとしております。

「DX事業」は、営業活動の可視化、営業活動の自動化を目指す法人向けマルチテナント型クラウドサービスとして開発した統合型営業・マーケティング支援SaaSの開発・販売及び顧客企業のカスタマーサクセスへ導く導入支援サービスを提供することで、中堅・中小企業のDXを支援する事業を展開しております。

「BPO事業」は、主に企業のマーケティング課題・システム課題を解決支援するWEBマーケティング支援、各種システムの受託開発・保守及び顧客企業へのシステムエンジニアリング（IT人材リソース）を提供するビジネスプロセスアウトソーシング事業を展開しております。

(2) 報告セグメントの収益及び業績に関する情報

報告セグメントの収益及び業績に関する情報は、次のとおりです。

前第1四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

	(単位：千円)				要約四半期 連結損益計算書 計上額
	D X 事業	B P O 事業	合計	調整額	
売上収益					
外部顧客からの売上収益	348,113	436,106	784,219	—	784,219
セグメント間の売上収益	1,376	31,739	33,115	△33,115	—
合計	349,489	467,845	817,334	△33,115	784,219
セグメント利益	54,063	56,389	110,453	△62,751	47,701
金融収益					—
金融費用					4,041
税引前四半期利益					43,659

当第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

	(単位：千円)				要約四半期 連結損益計算書 計上額
	D X 事業	B P O 事業	合計	調整額	
売上収益					
外部顧客からの売上収益	401,606	455,917	857,524	—	857,524
セグメント間の売上収益	3,731	17,366	21,097	△21,097	—
合計	405,338	473,283	878,621	△21,097	857,524
セグメント利益	73,833	70,969	144,803	△116,831	27,971
金融収益					—
金融費用					3,766
税引前四半期利益					24,205

(注) 1. セグメント間の取引は市場実勢価格に基づいております。

2. セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用によるものであります。

3. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。